

研究名：I期肺癌に対する重粒子線治療の多施設共同後向き観察研究

研究目的：I期非小細胞肺癌に対して、当院を含む4施設（※）で重粒子線治療を行った患者さんを対象に、放射線治療の効果や副作用の発生頻度などを調査・解析する多施設共同研究です。この研究により、重粒子線治療の最適な照射範囲や線量の研究が可能となり、今後の重粒子線治療の安全な治療方法や治療効果の評価を行い、よりよい治療法が確立できます。

（※：(1)放射線医学総合研究所・重粒子医科学センター病院、(2)群馬大学重粒子線医学センター、(3)兵庫県立粒子線医療センター、(4)九州国際重粒子線がん治療センターの4施設）

研究対象：2003年11月から2014年12月までに当院でI期肺癌に対して、高度先進医療または先進医療で重粒子線治療を行った患者さんが対象なりません。

利用する情報：患者さんの情報（年齢、性別）、病気の情報（病名、組織型、腫瘍サイズ、病歴、既往症）、放射線治療の情報（照射方法、標的体積、照射門数、標的線量/分割/治療期間、併用療法（化学療法、手術）、治療開始日、関連危険臓器の線量体積ヒストグラム(DVH)と正常組織障害確率(NTCP))、副作用などの情報（全身状態 PS、早期—有害事象と重症度、晚期—有害事象と重症度、最終生存/死亡確認日、再発の有無、二次発がんの有無）

研究方法：上記の「利用する情報」について調査を行い、統計的に処理して生存率や副作用の発生頻度を算出します。患者さん個人が特定されるような解析は行いません。

実施組織名：放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院

責任者名：放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター長

問い合わせ・苦情等の相談窓口（連絡先）：

放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院

メディカルデータバンク 同意・相談窓口

【所在地】〒263-8555 千葉県稲毛区穴川4-9-1

【電話】 043-206-3306

個人情報の取扱い方法：この研究では、患者さんの個人情報（氏名、住所など）は使用しません。また、患者さん個人が特定されるような研究結果の公表は致しません。具体的には、症例データを匿名化して収集し、生存率や副作用の発現率を統計的に解析し、その結果を個人が特定できないようなデータとして学会や論文で研究結果を発表します。

また、多施設から症例データを収集した場合や、統計解析処理の時にも個人情報保護については十分に配慮した処理を行います。

●患者さんへのお願い。

上記の研究にご自分の放射線治療に関するデータを使用して欲しくない方、
またはそのご家族の方は、2015年11月30日までにお申し出ください。
この調査へのご自分のデータの使用をお断りされても、不利益を受けること
は全くありません。
ご自分の自由な意思でお断りいただけますので、その場合は、上記連絡先ま
でご連絡下さい。